

貴重古典籍叢刊 3

雙寺本
曾我物語

角川源義

角川書店

貴重古典籍叢刊 3
妙本寺本 曾我物語



昭和四十四年三月三十一日 發行

定價 四〇〇〇圓

編者 角川源義

發行者 角川源義

印刷所 曉印刷株式會社

製本所 株式會社 鈴木製本所

發行所 株式會社 角川書店

東京都千代田區富士見二ノ十三
電話東京(255)七一十一(大代表)
振替口座東京一九五二〇八番

落丁・亂丁本はおとりかへいたします

凡 例

一、本書は『妙本寺本曾我物語』（伊東祐淳氏所蔵）を、原本の體裁を可能なかぎり忠實に傳へながら、一般に利用しやすいかたちで公刊することを目的とした。このため、以下に記すやうな作業を行なつた。

一、漢字についての作業

ア、活字鑄刻の便宜上、異體字、略體字は原則として正體字に統一した。

イ、ただし、活字鑄刻に差支へのない程度の異體字（「躰」、「无」など）および通行字（「渡」・「度」、「烈」・「列」など）は残した。

ウ、國字、僞字などで、眞字本曾我物語、神道集等の特異な用字と目されてゐるものは努めて原型に近づけた。

たとへば𪛗（『めでたし』）、𪛗（『ささやく』）、𪛗（『おぼる』）などである。糸借（『いとほし』）も「絲」を避けた。エ、イ・ウに記した異體字・通行字・僞字などで誤讀のおそれのあるもの、ならびに原本の明らかな誤寫等については、

その右に（ ）に入れて正字を示した。
オ、々などは原本のままとした。

一、假名、平古止點についての作業

ア、原本には博士家點と、それを補ふかたちで假名が施されてある。平古止點は平假名に鑄字し、片假名と組合はせて、ルビ活字でよみを示した。

イ、平古止點のうち、「て」「は」の點は反讀される文字・句の末尾に附せられてあることが多い。これらは反讀字の方へうつした。例へば原本に「暗涙」と「涙」に「に」「て」の點が附せられてあるのを「暗^て涙^て」とうつした如きである。これは一々註しなかつた。

ウ、片假名と區別のまぎららしい「へ」「り」は「ゑ」「ず」で表記した。また、古體・異體の假名はすべて通行字に統一した。

エ、平古止點と片假名が重複する場合はそのまま併記した。オ、本文中の和歌についても右の原則に従ふこととした。

カ、傍訓のうち、（ ）をもつて示したのは本門寺本の訓である。本門寺本には、妙本寺本に比して、非常に多くの振假名が施されてゐて、當代の讀方を考へる上に參考となしうる點少しとしない。よつて妙本寺本と一致する部分を除

き、その總てを傍記した。従つて、部分的にはあるが、妙本寺本の讀方と一致しない部分も存するが、それは、本門寺本が、眞字本をどう讀むだかを示すものとして、それなりに價值を有すると考へ、併記（或は校訂註に特記した部分もある）した。

キ、よみ易くするため、私に（ニ）を以て假名を補つた。その個所に該當する妙本寺本・本門寺本の個所に假名が無いが、或は異訓が施されてゐる場合に、原本、本門寺本、赤本文庫本神道集、四部合戰狀本平家物語などの訓例を参照して私に補つたものである。根據は校訂註に記した。

ク、假名の朱黒の區別は記さない（朱は稀）。

一、反點、合符、濁音符などについての作業

ア、反點は省略し、私に讀點を補つた。

イ、合符は朱、黒の二種があり、音（漢音、吳音の區別は、四部合戰狀本平家物語のやうには判然としてゐない）訓の區別を存する。朱、黒の區別は省略したが、位置は原本のままとした。

ウ、レ點、一二點、上下點で、原本にあるものはその旨傍記した（原有」とす）。それ以外は總て私に補つたものである。エ、濁音符は（ㇿ）が殆んどで、稀に（ㇿ）を以て記してある。

これらは校訂註に記した。また假名の濁音符はそのままにした。

オ、行末點（●）はすべて省略した。

一、原本の損傷、脫落などについての校訂作業

ア、原本の破損で本文が難讀になつてゐる個所は本門寺本で補ひ、□で圍んだ。乎古止點、假名は印刷の便宜上、右に傍線を引いて示した。

イ、補入個所は別筆以外はすべて本文に入れ、校訂註に記した。

ウ、ミセケチは左側にヒを記して残すことにした。

エ、スリケシ等の訂正も校訂註に記した。

オ、乎古止點のうち「れぞーなぞ」、「けるーるる」などについては混同が見られるやうであるので、文脈により譌字し、校訂註により得る別訓を記した。

カ、原本は卷第八後半で乎古止點を脫落させてゐる。本門寺本のよみに従つて多くの假名を補つた。私に補つたものについては、（ニ）を附した。

キ、本門寺本卷九の傍訓には、スリケシのものが混在してゐる。靜嘉堂文庫本・内閣文庫本により復原できうるので、その訓には*を右傍に附して示した。

一、本文校訂資料についての作業

本文の校訂資料となるべきものを、管見の及んだものについて拾ひ、「ア」「イ」……としてまとめた。これらは次によつた。

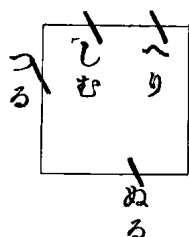
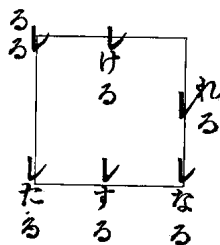
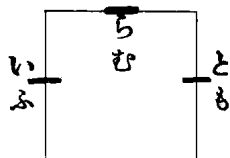
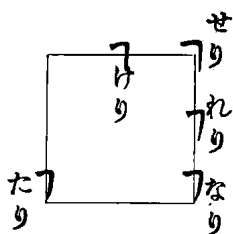
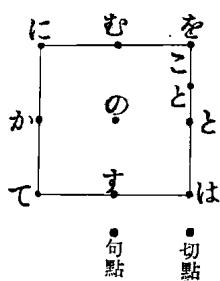
○神道集 赤木文庫本（昭和四十三年角川書店刊コロタイプ複製による）

○四部合戦狀本平家物語 慶應義塾大學斯道文庫本（昭和四十二年大安刊オフセット影印本による）

○私聚百因縁集 大日本佛教全書本（大正元年刊）。板本により校訂。

○寶物集 赤木文庫藏三卷古活字本

○妙本寺本平古止點圖



目次

凡例

妙本寺本曾我物語

卷第一

五

卷第六

一〇三

卷第二

三

卷第七

一〇三

卷第三

三

卷第八

一〇三

卷第四

三

卷第九

一〇三

卷第五

三

卷第十

一〇三

校訂註

三二

補註

二四

眞字本曾我物語・神道集同文一覽

二五

妙本寺本曾我物語攷

三〇七

I 妙本寺本書誌

三〇九

一 日向盲僧と眞字本曾我物語	三〇九
二 妙本寺本と本門寺本	三二五
三 日我と日義の師弟關係	三三四
四 妙本寺本曾我物語について	三三三
Ⅰ 曾我物語の成立	三三九
一 曾我物語の發生	三三九
二 眞字本曾我物語と平家物語劍卷	三四七
三 眞字本曾我物語と源平圖靜錄	三五三
四 眞字本曾我物語の成立期	三六四
五 東國の道	三七二
六 曾我物語の管理者	三八二
Ⅱ 北關東の唱導文藝	四〇七
一 頼朝と虎の道	四〇七
二 神道集の世界	四二三
別表 第一圖——第五圖	四四四
あとがき	四四九
妙本寺本曾我物語索引	四五二

曾我物語

卷第一

嘯月吟風恨未休
三春過去又三秋
淚魂難窮長江水
思淚難景東海流
可惜半夜孤心愁
露命不知幾年持
縱雖隔山川千里
夢魂定可有君邊

西女詩云

妙本寺 常任

日蓮

天文十年四月十日、夜月之ニツ出ル所付
 同年五月廿五日、身付月、星ノ添ル所付、事付
 天文十年四月十日、夜月之ニツ出ル所付
 同年五月廿五日、身付月、星ノ添ル所付、事付
 天文十年四月十日、夜月之ニツ出ル所付
 同年五月廿五日、身付月、星ノ添ル所付、事付

曾我物語卷第一

并序 本朝報恩合戰謝德闢諍集

夫申^ア日域秋津嶋^ト從^レ國常立尊^ニ以來天神七代地神五代都合十二代神代爾置^ニ地神
 五代末御神申^ニ早日旦居尊^ニ出^ニ御代^ニ御在治^ニ本朝^ニ七千五百三十七年其次出^ニ御代^ニ
 御神申^ニ大和日高見尊^ニ治^ニ本朝^ニ十二萬八千七百八十五年其次出^ニ御代^ニ御神申^ニ早富
 大足尊^ニ治^ニ本朝^ニ七千五百一十二年其次出^ニ御代^ニ御神申^ニ鷲羽葺不合尊^ニ治^ニ本朝^ニ十二萬
 三千七百四十二年其後神代絕^ニ七千年間云^ニ安日鬼王^ニ四世^ニ治^ニ本朝^ニ七千年其後鷲
 羽葺不合尊^ニ第四代^ニ御孫子神武天王出^ニ世^ニ安日諍^ニ代^ニ時自^ニ天靈劍三腰雨^ニ下鎮^ニ安
 日惡逆^ニ天王^ニ成^ニ勳^ニ安日部類被^ニ追^ニ下東國外濱^ニ今申^ニ醜蠻^ニ是此神武天王爲^ニ人代百
 王始^ニ帝^ニ治^ニ本朝^ニ九十七年此帝御時鬼王窺^ニ安日^ニ後^ニ己^ニ年東征留^ニ豐葦原長津國^ニ於^ニ
 日向國宮崎郡繼^ニ王子^ニ寶祚^ニ平^ニ畝^ニ科山^ニ立^ニ帝^ニ都^ニ勿^ニ拂^ニ柏原地^ニ自^ニ造^ニ宮室^ニ以來代々帝
 御代後治^ニ國土^ニ有三道^ニ即文武二道是以^ニ文和政安^ニ民廻^ニ計^ニ以^ニ武鎮^ニ四夷^ニ亂而令^ニ輕^ニ

朝威^{（カウ）}傾^{（カウ）}國土^{（カウ）}者殊^{（カウ）}不^{（カウ）}可^{（カウ）}不^{（カウ）}禁^{（カウ）}而唐^{（カウ）}大宗^{（カウ）}國^{（カウ）}疵^{（カウ）}立^{（カウ）}所^{（カウ）}養^{（カウ）}戰^{（カウ）}田^{（カウ）}漢^{（カウ）}高祖^{（カウ）}提^{（カウ）}三尺^{（カウ）}劔^{（カウ）}乍^{（カウ）}居
 制^{（カウ）}諸^{（カウ）}侯^{（カウ）}故^{（カウ）}本^{（カウ）}朝^{（カウ）}中^{（カウ）}比^{（カウ）}被^{（カウ）}始^{（カウ）}置^{（カウ）}源^{（カウ）}平^{（カウ）}兩^{（カウ）}氏^{（カウ）}狼^{（カウ）}鎮^{（カウ）}奢^{（カウ）}者^{（カウ）}事^{（カウ）}既^{（カウ）}經^{（カウ）}四^{（カウ）}百^{（カウ）}餘^{（カウ）}歲^{（カウ）}星^{（カウ）}霜^{（カウ）}也
 抑^{（カウ）}申^{（カウ）}平^{（カウ）}氏^{（カウ）}桓^{（カウ）}武^{（カウ）}天^{（カウ）}王^{（カウ）}第^{（カウ）}五^{（カウ）}王^{（カウ）}子^{（カウ）}一^{（カウ）}品^{（カウ）}式^{（カウ）}部^{（カウ）}卿^{（カウ）}其^{（カウ）}御^{（カウ）}子^{（カウ）}高^{（カウ）}見^{（カウ）}王^{（カウ）}无^{（カウ）}官^{（カウ）}无^{（カウ）}位^{（カウ）}失^{（カウ）}其^{（カウ）}御^{（カウ）}子^{（カウ）}高^{（カウ）}望^{（カウ）}
 王^{（カウ）}時^{（カウ）}始^{（カウ）}賜^{（カウ）}平^{（カウ）}朝^{（カウ）}臣^{（カウ）}姓^{（カウ）}從^{（カウ）}成^{（カウ）}上^{（カウ）}總^{（カウ）}守^{（カウ）}忽^{（カウ）}出^{（カウ）}王^{（カウ）}氏^{（カウ）}列^{（カウ）}人^{（カウ）}臣^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}鎮^{（カウ）}守^{（カウ）}府^{（カウ）}將^{（カウ）}軍^{（カウ）}良^{（カウ）}望^{（カウ）}舍^{（カウ）}兄^{（カウ）}失^{（カウ）}
 常^{（カウ）}陸^{（カウ）}守^{（カウ）}望^{（カウ）}視^{（カウ）}朝^{（カウ）}臣^{（カウ）}入^{（カウ）}替^{（カウ）}其^{（カウ）}跡^{（カウ）}改^{（カウ）}常^{（カウ）}陸^{（カウ）}大^{（カウ）}拯^{（カウ）}國^{（カウ）}香^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}貞^{（カウ）}盛^{（カウ）}將^{（カウ）}軍^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}從^{（カウ）}二^{（カウ）}位^{（カウ）}權^{（カウ）}少^{（カウ）}將^{（カウ）}維^{（カウ）}
 衡^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}四^{（カウ）}位^{（カウ）}少^{（カウ）}納^{（カウ）}言^{（カウ）}政^{（カウ）}慶^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}從^{（カウ）}三^{（カウ）}位^{（カウ）}政^{（カウ）}衡^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}播^{（カウ）}磨^{（カウ）}守^{（カウ）}政^{（カウ）}盛^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}刑^{（カウ）}部^{（カウ）}卿^{（カウ）}忠^{（カウ）}盛^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}
 大^{（カウ）}政^{（カウ）}大^{（カウ）}臣^{（カウ）}清^{（カウ）}盛^{（カウ）}日^{（カウ）}本^{（カウ）}國^{（カウ）}大^{（カウ）}將^{（カウ）}軍^{（カウ）}不^{（カウ）}及^{（カウ）}子^{（カウ）}細^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}內^{（カウ）}大^{（カウ）}臣^{（カウ）}重^{（カウ）}盛^{（カウ）}先^{（カウ）}立^{（カウ）}父^{（カウ）}大^{（カウ）}相^{（カウ）}國^{（カウ）}失^{（カウ）}不^{（カウ）}及^{（カウ）}
 申^{（カウ）}其^{（カウ）}弟^{（カウ）}內^{（カウ）}大^{（カウ）}臣^{（カウ）}從^{（カウ）}一^{（カウ）}位^{（カウ）}平^{（カウ）}朝^{（カウ）}臣^{（カウ）}宗^{（カウ）}盛^{（カウ）}東^{（カウ）}夷^{（カウ）}暴^{（カウ）}風^{（カウ）}強^{（カウ）}浮^{（カウ）}西^{（カウ）}海^{（カウ）}浪^{（カウ）}船^{（カウ）}其^{（カウ）}後^{（カウ）}申^{（カウ）}屋^{（カウ）}嶋^{（カウ）}大^{（カウ）}臣^{（カウ）}
 殿^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}右^{（カウ）}衛^{（カウ）}門^{（カウ）}督^{（カウ）}清^{（カウ）}宗^{（カウ）}不^{（カウ）}絕^{（カウ）}平^{（カウ）}氏^{（カウ）}去^{（カウ）}元^{（カウ）}曆^{（カウ）}一^{（カウ）}年^{（カウ）}乙^{（カウ）}年^{（カウ）}三^{（カウ）}月^{（カウ）}廿^{（カウ）}四^{（カウ）}日^{（カウ）}於^{（カウ）}長^{（カウ）}門^{（カウ）}國^{（カウ）}壇^{（カウ）}浦^{（カウ）}一^{（カウ）}族
 振^{（カウ）}種^{（カウ）}失^{（カウ）}其^{（カウ）}子^{（カウ）}孫^{（カウ）}无^{（カウ）}一^{（カウ）}人^{（カウ）}今^{（カウ）}忠^{（カウ）}盛^{（カウ）}次^{（カウ）}男^{（カウ）}池^{（カウ）}尼^{（カウ）}公^{（カウ）}御^{（カウ）}腹^{（カウ）}嫡^{（カウ）}子^{（カウ）}池^{（カウ）}大^{（カウ）}納^{（カウ）}言^{（カウ）}賴^{（カウ）}盛^{（カウ）}御^{（カウ）}末^{（カウ）}許^{（カウ）}留^{（カウ）}本^{（カウ）}
 朝^{（カウ）}其^{（カウ）}外^{（カウ）}不^{（カウ）}嫌^{（カウ）}成^{（カウ）}人^{（カウ）}幼^{（カウ）}稚^{（カウ）}君^{（カウ）}達^{（カウ）}悉^{（カウ）}被^{（カウ）}失^{（カウ）}畢^{（カウ）}抑^{（カウ）}申^{（カウ）}源^{（カウ）}氏^{（カウ）}受^{（カウ）}清^{（カウ）}和^{（カウ）}天^{（カウ）}王^{（カウ）}御^{（カウ）}末^{（カウ）}尋^{（カウ）}其^{（カウ）}先^{（カウ）}祖^{（カウ）}
 中^{（カウ）}比^{（カウ）}帝^{（カウ）}王^{（カウ）}在^{（カウ）}御^{（カウ）}名^{（カウ）}申^{（カウ）}文^{（カウ）}德^{（カウ）}天^{（カウ）}王^{（カウ）}從^{（カウ）}天^{（カウ）}照^{（カウ）}大^{（カウ）}神^{（カウ）}以^{（カウ）}來^{（カウ）}三^{（カウ）}十^{（カウ）}七^{（カウ）}世^{（カウ）}正^{（カウ）}統^{（カウ）}自^{（カウ）}三^{（カウ）}神^{（カウ）}武^{（カウ）}天^{（カウ）}王^{（カウ）}爲^{（カウ）}五^{（カウ）}十
 五^{（カウ）}代^{（カウ）}帝^{（カウ）}此^{（カウ）}帝^{（カウ）}王^{（カウ）}子^{（カウ）}太^{（カウ）}多^{（カウ）}御^{（カウ）}在^{（カウ）}其^{（カウ）}中^{（カウ）}第^{（カウ）}一^{（カウ）}御^{（カウ）}子^{（カウ）}申^{（カウ）}惟^{（カウ）}喬^{（カウ）}親^{（カウ）}王^{（カウ）}第^{（カウ）}二^{（カウ）}御^{（カウ）}子^{（カウ）}申^{（カウ）}惟^{（カウ）}仁^{（カウ）}親^{（カウ）}王^{（カウ）}然^{（カウ）}一
 宮^{（カウ）}御^{（カウ）}成^{（カウ）}人^{（カウ）}上^{（カウ）}王^{（カウ）}者^{（カウ）}在^{（カウ）}領^{（カウ）}備^{（カウ）}御^{（カウ）}身^{（カウ）}御^{（カウ）}在^{（カウ）}四^{（カウ）}海^{（カウ）}安^{（カウ）}危^{（カウ）}照^{（カウ）}掌^{（カウ）}內^{（カウ）}百^{（カウ）}王^{（カウ）}理^{（カウ）}亂^{（カウ）}懸^{（カウ）}御^{（カウ）}心^{（カウ）}中^{（カウ）}可^{（カウ）}申^{（カウ）}末
 代^{（カウ）}賢^{（カウ）}王^{（カウ）}第^{（カウ）}二^{（カウ）}御^{（カウ）}子^{（カウ）}亦^{（カウ）}渡^{（カウ）}幼^{（カウ）}御^{（カウ）}齡^{（カウ）}當^{（カウ）}時^{（カウ）}執^{（カウ）}權^{（カウ）}臣^{（カウ）}染^{（カウ）}殿^{（カウ）}關^{（カウ）}白^{（カウ）}忠^{（カウ）}仁^{（カウ）}公^{（カウ）}御^{（カウ）}娘^{（カウ）}染^{（カウ）}殿^{（カウ）}后^{（カウ）}御^{（カウ）}腹^{（カウ）}

故一門。卿相雲客坐列奉賞。一遵依之。此君亦難差置。思食彼周文繼鉢。器量御在。是亦萬機無雙。人相御在。彼此俱勞。何被思食煩。依之被下。宣旨以朕思慮。選授位。是用捨似有私。人臣必返。辱有謗。須以競馬。藝知其德。運付相撲。勝負辨其高德。依雄士授寶祚。任果報。可與帝位。于時天安元年三月三日。奉引具二人。太子右近馬場。成行幸。依之王公卿相。取々儀花。袂並玉鑣。如雲集。如星列。而希代勝事。有天下勇見物。一宮御方。相撲名虎卿。御馬云。瀧水一名馬。二宮御方。相撲吉雄少將。御馬云。走水一名馬。復兩方。被置御持僧。一宮御方弘法大師。御弟子信濟僧。正是即申柿本紀僧正。二宮御方山門住侶惠良和尚。是何況。年來日來奉寄心。月卿雲客。各引二分兩方。把手碎心。有二十番競馬。四番一宮御方勝。依之二宮御使。走連比叡山。布如引蠅。似並一櫛齒。惠良和尚其時被燒。大威德護摩。四番負。被問。碎心。腑肝膽餘。自以獨貼首。突破。取腦。和乳。被燒。護摩。大威德乘繪像。牛三度嘶。出氣成紫雲。一達都方。斯酬念力。後六番連亦二宮御方勝。其後相撲。无相違。二宮御方勝。依之信濟僧。正不及破壇。被死。思死。從其一宮。比叡山。麓云。小野處。引籠。蘭性。花。時旅山。雨。夜。錦帳。本草菴內。佐御心細引替。金銀水精。金床。壇。小屋。葦簾。違。薰陸。沈麝。煙。葦火。燒屋。夕煙。爲徒然。御住居。遁春花夢內。世山郭公。呼友聲。近御耳。御前夕殿。螢燈。許有霜月。比。

雪最深雨積、都行人希、倍彼小野宮。御住居被思出哀悲、彼在中將業平當初
 不淺申契人、踐分差深雪、只獨尋參珍重、不而枯人目草、冬山里孤獨倍可無骨
 雪内誰可尋參、皆白妙庭面、無跡踏付方、宮端近居出、香廬峰雪挑、簾見御口遣、
 詠四方山邊折節、參在中將御謔、夢寢々夢更不思食分、御氣色在中將亦斯孤
 獨幽奉見御有様、爭可不押涙、被思出昔重陽花御遊、片野御野御狩、哀悲、在中
 將泣々是思連

忘レテハ夢カトソ思オモイキヤ雪フミワケテ君ヲ見ムトハ

宮哀被思食、押御涙是

夢カトモ何カオモハム世ノ中ヲイトハサリケル事ヲクヤシキ
 申此宮昔被養綺窓内羅帳本成長形勝人、情超世而自母后奉始奉賞遵家重大事
 朝夕柔和御頂粧手、夜晝奉瞻花良、今被思食捨世間萬事、在中將如是、被奉訪、依
 之宮咽御涙、御在峰櫻軒半梅、秋草痛露、宮城野萩、嵯峨野女郎花、珍敬床、上覆懷抱
 袖、仰崇食、下奉勸乳養、甘露奉賞遵有甲斐、宿殖德本形隨日艶々、衆人愛敬、躰追
 「時泳々然帝王位天照大神御計不及子細御籠居後其心秀逸不望榮耀、其思清素
 不被染紅塵、思似玉不汚世間塵、心如蓮不染娑婆濁、月傾山半星流西曉、世有限歎

事、花散枝露、從^{モロク}草久、命悲浮、事依^レ之、朝夕稱名爲^レ事、寤寐不^レ怠、念^二佛^一、此念願終不^レ空、

御年四十有^二餘^一、御往生、御葬送、後奉^レ見^二御骨^一、如^二佛舍利^一、皆成^二青玉^一、見^二人聞人^一、是奉^二恨

惱、出家入^二菩提^一、人其數有^二太多^一、承^二此世帝位^一、夢內御榮、極樂不退、御樂實^二覺^一、斯

二宮惟仁親王、御父文德天王、御年三十二有^二崩御^一、如^二御本意^一、受^二御讓^一、御年申^二九歲^一、

即^二御位^一、御在^二今世^一、申^二清和天王^一、即^二此御事^一、此帝亦御年奉^レ申^二廿九歲^一、時被^二思食^一、出^二父王^一、

御事、御舍^二兄惟喬親王^一、御往生、思^二食恨惱^一、御事、遁^二御位^一、云^二丹波國水尾寺^一、處^二昇籠^一、申^二

水尾帝、當^二彼御時^一、大安寺行教和尚宇佐八幡大菩薩奉^レ勸^二請^一、男山石清水、而彼御神

尋^二水尾清流^一、守^二源氏^一、此帝王子太多、御在第一陽成天王、即^二御位^一、備^二萬乘寶位^一、申^二

子細、不^レ及^二第二貞固親王^一、第三貞玄親王、第四貞保親王、復^レ申^二葛原親王^一、御在^二琵琶上

手、名譽々々、聞^二天下^一、渡^二好色勇士^一、奉^レ懸^二心女人^一、无^二爲方^一、螢裏袖、詠^二色垂衣^一、書^二歌^一、投^二入

御車內、自^二此御時^一、始^二一五^一、

サハヘナルホタルヲソテニヤトシツ、色タレキストモシヲタクラント

詠古歌有^二様成^一、珍重爲^二師第五貞平親王^一、第六貞純親王、且^レ及^二此御子^一、閣^二文筆^一、藝^二携^一

弓馬道^二成^一、帝王御堅、其御子申^二經基六孫王^一、位^二正五位下^一、成^二上總守^一、始^二賜源氏姓^一、其御

子正四位下攝津守源滿中、出家、後申^二多田新發滿中^一、其一男攝津守賴光、是攝津國